

(参考資料) 鉄道の路線維持・活性化のための諸施策の事例

6. 目標達成のための事業と実施主体

基本方針	基本的な考え方	施策メニュー	実施主体	事業スケジュール					総合事業計画対象事業	参照頁
				平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
(1) 明知鉄道の基幹路線としての安全性の確保と機能強化	・明知鉄道が当該地域の基幹路線として位置付けられたことから、その機能の強化を図ることにより、基幹路線として相応しい利便性、安全性の向上を図る	①鉄道施設の更新・修繕	明知鉄道㈱	→						P. 3 0
		②新駅の整備	明知鉄道㈱	→	→	→				P. 3 1
		③行き違い設備の整備の検討	明知鉄道㈱	→	→	→	→	→		P. 3 1
		④P & Rの推進	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→		P. 3 2
		⑤駅舎・ホームの簡易バリアフリー化	明知鉄道㈱	→	→	→	→	→		P. 3 4
		⑥案内板の設置	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→	H22	P. 3 4
		⑦DMV試験運行及び導入の検討	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→		P. 3 5
(2) 基幹路線である明知鉄道とその支線となる交通機関との連携強化	・バス路線を明知鉄道の支線として再編していくことが明確化されたことから、明知鉄道との乗り継ぎ利便性及各地域のニーズを十分に勘案した路線への再編を推進していく	①鉄道との乗り継ぎを考慮したバス路線網の再編	バス事業者、沿線市	→	→	→	→	→	H21～H23	P. 3 7
		②乗り継ぎによる割引運賃の導入	明知鉄道㈱、バス事業者、沿線市	→	→	→	→	→		P. 4 7
(3) マイバス・マイレール意識の醸成による公共交通と地域住民との連携強化	・公共交通の実態やその活用方法、会議等での検討内容を積極的に情報発信していくことにより、公共交通の運営に対する住民理解を深める ・住民参加型の沿線環境整備や車両整備、駅の愛称募集、キャラやロゴなどの作成を通じて、地域におけるマイバス・マイレール意識の醸成を図る	①公共交通シンポジウムの開催(年1回開催)	明知鉄道㈱、バス事業者、沿線市	→	→	→	→	→	H21～H23	P. 4 8
		②公共交通マップの作成	沿線市	→	→	→	→	→	H21・H23	P. 4 9
		③モビリティマネジメントの推進	沿線市、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→	H21～H23	P. 4 9
		1) 公共交通の活用方法に関する広報周知	明知鉄道㈱、沿線市、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 0
		2) あけてつサポーターズクラブ会員証(仮称)の発行	明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 1
		3) ふれあい列車の運行	明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 1
		④ホームページによる情報発信の強化	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→		P. 5 1
		⑤乗りたくなる車両の整備(明知鉄道・バス車両のラッピング)	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→	H23	P. 5 1
		⑥駅の愛称募集	明知鉄道㈱、沿線市	→	→	→	→	→		P. 5 2
		⑦地域住民の参画による沿線環境の整備	明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 2
		1) 線路沿いの草刈りや植樹	明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 2
		2) 駅舎の清掃	明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 2
(4) 公共交通とまちづくり・観光振興の取り組みとの連携強化	・沿線地域や鉄道に魅力的な環境を付加することで、移動需要そのものを創出していく ・観光情報の発信強化、まちづくり事業との連携強化により一層の集客力の向上を図る	①イベント列車の運行	明知鉄道㈱	→	→	→	→	→		P. 5 3
		②明知鉄道を活用したツアーの実施	明知鉄道㈱、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 4
		③観光パンフレットやポスターの作成	明知鉄道㈱、沿線市、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→	H21～H23	P. 5 6
		④沿線イベントとの連携	明知鉄道㈱、沿線市、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 5 6
		⑤駅舎の空きスペースの活用	明知鉄道㈱	→	→	→	→	→		P. 5 7
		⑥関連事業との連携	沿線市	→	→	→	→	→		P. 5 7
		⑦SL車両の活用	沿線市	→	→	→	→	→		P. 5 7
(5) 地域公共交通運営組織間の連携強化	・公共交通の利便性の向上と維持、継続した利用促進の取り組みを実現するため、関連組織の再編と役割分担の明確化を行うと共に、継続的な実践を通じた連携の強化を図る	①組織の再編	沿線市	→	→	→	→	→		P. 5 9
		②組織間の連携強化	明知鉄道㈱、バス事業者、沿線市、明知鉄道活性化協議会	→	→	→	→	→		P. 6 3

※ — — — は、調査検討を示す

表 1-3 事業の概要

方策	項目	実施主体	主たる対象者			事業スケジュール			
			通勤	通学	定期外	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
鉄道の利便性向上	乗車券のシームレス化 (IC カード)	伊賀鉄道	○	○	○				→
まちづくりとの連携	周遊性フリーきっぷの販売	伊賀鉄道			○				→
	地域のお祭、イベントとの連携	伊賀鉄道			○				→
	地域情報誌とのタイアップ	伊賀鉄道			○				→
	学生主導の活性化活動	伊賀鉄道	○						→
魅力の向上	車両の更新・デザイン化	伊賀鉄道	○	○	○			→	
	列車の魅力づくり (イベント列車の運行、レトロデザインの運転系統標識の復活、ギャラリー列車等)	伊賀鉄道活性化連携計画協議会	○	○	○				→
	駅の魅力づくり	伊賀鉄道	○	○	○				→
	セールスプロモーション (SP) 活動	伊賀鉄道	○	○	○				→
	付加価値のある乗車券制作	伊賀鉄道			○				→
	伊賀鉄道グッズの販売	伊賀鉄道	○	○	○				→
意識啓発	県職員、市職員の通勤利用促進	三重県 伊賀市	○		○				→
	時刻表の作成を含むモビリティ・マネジメントの実施	伊賀鉄道活性化連携計画協議会	○	○	○				→

※これまで伊賀鉄道活性化協議会で行ってきた事業については、伊賀鉄道活性化連携計画協議会に引き継いで実施する。

6. 本計画の計画期間

本計画の事業期間は平成 21 年度～25 年度までとしますが、一部の施策については平成 26 年度以降も継続して検討・実現化を図っていくものとします。なお、スケジュールは下記の表に示します。

表 1 3. 計画の事業名及び事業主体・計画期間

事業名	内容	事業主体	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
【施策番号 1】交通不便地区の解消に向けて							
スマイルあおぞらバスの見直し実施	交通不便地区を解消するため、スマイルあおぞらバスの経路を一部変更します	活性化協議会 ひたちなか市	勝田西コースの見直しについては条件が整い次第実施 その他のコースの見直しについても実施できるところから実施			導入後も状況に応じて適時見直しを実施	
新たな交通手段の試行運行	スマイルあおぞらバスや路線バスで対応できない交通不便地区に新たな公共交通を試行運行します	活性化協議会 ひたちなか市	検討 一部試行運行開始	一部試行運行開始	導入後も状況に応じて適時見直しを実施		
デマンド運行の継続検討	デマンド運行を継続運行するために検討を行います	活性化協議会	可能性検討				
【施策番号 2】公共交通の利用しやすい環境整備にむけて							
路線バス等の利便性改善	路線バスの利便性を増すために、鉄道との接続改善やニーズにあった運行回数、運行時間の設定などを図っていきます	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	適時市民ニーズにあわせ見直しを実施 改善できる路線から改善				
バス利用環境の整備	バス停改善、バス利用マップの作成のほか、サイクルパークアンドバスライド施設の設置検討を行います	ひたちなか市	設置箇所 検討	順次実施できるところから実施			
佐和駅東口の整備	佐和駅東口への連絡自由通路、乗り場の設置について可能性を検討していきます	ひたちなか市	可能性検討	条件が整い次第設計等に着手			
駅などでの案内表示の充実	勝田駅や那珂湊駅などで乗り換え案内、バス停やタクシー乗り場への誘導案内などを分かりやすいものに更新整備していきます	ひたちなか市	実施できるものから実施				
【施策番号 3】利用しやすいひたちなか海浜鉄道の実現にむけて							
列車行き違い施設の整備	列車運行本数を増やすため金上駅に行き違い施設を設置します	ひたちなか海浜鉄道 ひたちなか市	金上駅行き違い 施設整備				
列車ダイヤの改善	ひたちなか海浜鉄道の運行本数を増やします		増便実施	必要に応じて実施			
車輛の更新	現行の旧型車輛を高性能の中古車輛に置き換えます		平成 24 年度までを目処に実現				
勝田駅専用改札口の設置	勝田駅にひたちなか海浜鉄道の専用改札口を設置します		設置検討 関係機関協議・調整				
新駅の設置	路線の利用状況などを踏まえて適時新駅設置についての検討を実施します		設置検討				
踏切保安施設の更新	踏切の安全を確保するために遮断機や周辺機器を改良します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
車輛運行の安全性向上関連整備(自動列車停止装置)	A T S 地上機器と A T S 車上機器を整備します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
落石など防止設備の整備	那珂湊～殿山：ブロック交換、殿山～平磯間：勾配修正を行います		導入施策検討・実施可能なものから実施				
分岐器の重軌条化	那珂湊駅構内の分岐器を 3 ヶ所更新します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
ホームの嵩上げ	阿字ヶ浦駅などのホームの嵩上げをします		導入施策検討・実施可能なものから実施				
P C 枕木の敷設	コンクリート製の枕木に交換します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
I C カード利用環境の整備	I C カードによる運賃決済を可能にします		導入施策検討・実施可能なものから実施				
アクセスバスの運行	阿字ヶ浦駅と国営ひたち海浜公園や佐和駅方面へのアクセスバスを運行します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
各種利用促進施策の実施	ひたちなか海浜鉄道の利用を促進するため、利用者の利便性を向上させるためのソフト的な取り組みを実施します		導入施策検討・実施可能なものから実施				
【施策番号 4】高齢者が利用しやすい公共交通の実現に向けて							
交通施設のバリアフリー化の推進	車輛や駅・停留所のバリアフリー化を推進します	交通事業者 ひたちなか市	対応箇所の検討	順次実施できる箇所から実施			
バス停環境の整備	安全性に問題のあるバス停の周辺環境を改善します	県・市道路管理者	対応箇所の検討	順次実施できる箇所から実施			
高齢者のニーズに合わせた公共交通体系の見直し	高齢者の生活パターンやニーズに合わせた路線設定や運行時間帯に見直します	活性化協議会 交通事業者 ひたちなか市	適時高齢者ニーズにあわせ見直しを実施 改善できる路線から改善				
高齢者への支援	運転免許証を返上した高齢者に対して、公共交通割引乗車証明書などの発行を検討します	ひたちなか市	導入検討		試行導入		
【施策番号 5】観光地への公共交通の利便性向上に向けて							
観光地へのシャトルバス・乗合タクシーの試行運行	那珂湊おさかな市場や国営ひたち海浜公園に向けてシャトルバスなどを試行運行します	活性化協議会 ひたちなか市	検討実施	その後も状況に応じて適時見直しを実施			
観光地へのパークアンドライド駐車場の整備検討	自家用車から鉄道やバスに乗り換えて観光地へ向うためのシステム整備を検討します	ひたちなか市	実施箇所検討	導入に向けた関係機関協議・調整			
【施策番号 6】公共交通利用の利用促進に向けて							
本市児童に対する公共交通利用の啓発教育の実施	小学生に対し、公共交通利用促進のための教材を作成し配布します	活性化協議会 ひたちなか市	原案作成配布	定期的に見直しを実施			
公共交通利用促進マップの作成	本市の鉄道、バス等すべてを網羅した公共交通便利帖を作成し配布します	ひたちなか市			作成配布	定期的に見直しを実施	
ターミナルインターフェイスの設置	ビクトグラムなどを用いた案内板設置の検討を行います	ひたちなか市	導入施策検討・実施可能なものから実施				
【施策番号 7】まちづくり施策と連携した公共交通によるまちづくり支援施策の実施							
公共交通を利用した販売促進、商業振興の実施	公共交通車中に商店街などの割引券やお買い得情報などを掲載します	活性化協議会 商工会議所	実現化に向けて商工会議所など関係機関と協議 実現可能な商店会などから順次実施				
公共交通料金割引券の配布	市内での買い物客に対し、買物額に応じてひたちなか海浜鉄道、路線バス、スマイルあおぞらバスで共通に利用可能な割引券を発行します	活性化協議会 交通事業者 商工会議所など	実現化に向けて商工会議所など関係機関と協議 実現可能な商店会などから順次実施				